

目の不自由な方に「ひろしま市議会だより」の点字版とデジ版を発行しています。希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。[申し込み、問い合わせ] 市議会事務局秘書広報室広報担当 TEL 504-2439 FAX 504-2448

発言項目

◎発言順に掲載

●平野太祐(自民党・保守クラブ・西区) 平和、核兵器廃絶 地方分権改革、建築物の耐震化(障害者の就労)広島西飛行場跡地

●木戸経康(自由民主党・安佐北区) 防災対策 教育問題、空き家問題、スマートインターチェンジ

●米津欣子(公明党・佐伯区) 平和行政、観光サイン、火事による被災者対応、放課後等デイサービス、LGBT

●定野和広(市政改革ネットワーク・西区) 教育旅行、平和教育、駅前観音線の整備、サッカースタジアム、こども医療費補助

●中原洋美(日本共産党・南区) 核兵器禁止条約の締結へ踏み出すとき、熊本地震の教訓を生かそう、地域経済を元気にするために、公共施設の見直しは市民とともに、サッカー球場整備、障害者差別解消法を実効性あるものに

●山内正晃(市民連合・安佐北区) 平和行政の推進、危機管理、浸水(内水)、対策、公共交通、教職員の超過勤務の縮減、ひとり親家庭の子どもの学習支援、子どもの医療費補助制度、市民の就労支援

●八條範彦(広島市民クラブ・安佐南区) 都心のまちづくり、学校教育

●豊島若白(自由民主党立派会・西区) 国内外の国連機関との連携、誘致、観光人材の育成、ハコモノの省エネ対策、本市とASEANにおける互恵的経済交流の推進

●金子和彦(自民党・保守クラブ・安芸区) 複合用途ビル用途変更に伴う営業許可

●今田長治(自由民主党・安佐北区) 目配りの市政、原爆ドーム周辺の景観、安佐市民病院の機能分化、整備、サッカースタジアム

●平木典道(公明党・東区) 地方創生、急傾斜地崩壊対策事業、空家対策

●伊藤昭善(市政改革ネットワーク・安佐北区) 選挙の投票率向上、民生委員・児童委員の改選待機児童ゼロ対策、有害鳥獣対策、街路樹再生指針、安佐市民病院跡地活用

※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。

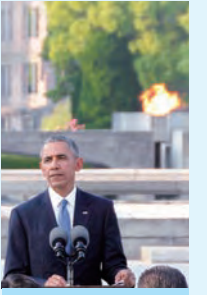


オバマ大統領の広島訪問

5月27日、同大統領が広島で演説をし、メッセージを残しました。この訪問についての市長の感想と今後の核兵器廃絶に向けた取り組みを聞かせてください。

原爆投下国の現職大統領が初めて被爆地を訪

問する決断は、理性と良心に基づく英断であり、「核兵器のない世界」に向けた決意を一層強固なものにしていただくと考えています。今後も「核兵器のない世界」の実現に向けて着実かつ継続的に取り組むことが大切であり、引き続き国際会議などの機会を捉え、世界の政治指導者の被爆地訪問を呼び掛けていきます。



オバマ大統領

地震対策・建築物の耐震化

耐震診断が義務付けられた不特定多数の方が利用する建築物の耐震化の促進や対応はどうなっていますか。

民間建築物の耐震化について補助金の応募が増え、予算が不足したらどう対応するのですか。

同建築物については、これまで所有者に対して個別に文書を発送するなど周知を図ってきましたが、今後は必要に応じて個別訪問を行うなどにより、さらなる意識啓発を行いたいと考えています。民間建築物に関しては、補助制度の応募件数が多くなった場合、予算の確保について検討していきたいと考えています。



熊本地震の課題を踏まえた防災対策

地震による死者の多くが建物倒壊を原因としており、また、速やかに災害対応を行うためには活動拠点となる庁舎など公共施設の耐震化が必要です。今後、市は公共施設と民間建築物の耐震化をどのように進めていくのですか。

公共施設は、平成35年度までに庁舎や消防署など防災拠点施設の耐震化率100%を目標に取り組んでおり、今後、耐震化のスピードをさらに加速していきたいと考えます。民間建築物は、平成32年度までを計画期間とする「広島市建築物耐震改修促進計画」(第2期計画)を本年4月に策定



熊本地震被害状況(益城町)

市が開校する「新しいタイプの高校」

不登校や問題行動な生徒に対して、新しいタイプの高校ではどのような教育を行うおとしているのですか。子どもたちがもう一度頑張る気になり、先生方がそれらの生徒をサポートしようという思いを持っています。

生徒一人一人のニーズに応じた多様な学習形態や教育内容を提供し、チューター制度を導入して生徒個々に対する適切な指導体制を確立し、安心して通うことのできる居場所づくりや心のケアのための相談体制を充実させることと



今後の平和行政は

今後の核兵器廃絶に向けた取り組みはどのように行いますか。オバマ大統領の来広は各都市に平和首長会議への参加を促す絶好の機会だと思えます。核保有国など世界のリーダーに広島訪問してもらってはどうか。

同大統領の訪問は世界のリーダーの被爆地訪問に繋がる契機になると考えます。本市の核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取り組みを強化する追い風とし、今後

も着実かつ継続的に取り組みたいと考えています。平和首長会議加盟都市のさらなる拡大や都市間の連携を強化し、被爆の実相を

守り、広め、伝える取り組みを推進します。

がん教育の推進を

がん対策の遅れを憂えます。学校などで医師やがん経験者など現場を知る人を講師に、正しいがんの知識を学ぶ体制が必要ではないですか。

子どもが、がんへの正しい知識を持ち、健康と命の大切さを学ぶことは大変重要であり、子どもを通して保護者への啓発にもつながると考え、小・中学校、高等学校の授業でがんの発生原因や予防、早期発見の必要性などについて指導してまいりました。今後、子どもの理解が一層深まるよう保健体育科を中心とした効果的な指導に取り組むとともに、医師会や関係機関と連携した出前授業などを積極的に進めていきます。



なぜできない4者会議

旧市民球場跡地にサッカースタジアムを建設するサンフレッチェ広島独自案が示されましたが、膠着しています。事態を打開するためには同球団も加えた直接対話が早急に必要なと思いますが、なぜ行わないのですか。

今年3月に同球団から提案された建設案の内容については、収容人数の少なさ、観客の動線確保などが困難な施設配置、事業費の積算に問題があるなど実現可能性に疑問があることから引き続き検証が必要と考えます。同スタジアム建設予定地の早期決定のため、事務レベルでの協議を行っ

広島発平和教育の推進

被爆体験者も高齢となつていく中、平和教育における学校の役割はますます大きくなります。本市の取り組みの柱である平和教育プログラムについて今後どのように展開していくつもりですか。

本市は平成25年度から全市立学校で、小学校から高等学校まで12年間を見通した平和教育プログラムを実施しており、被爆に関する知識、理解が深まるなどの成果が表れています。平和教育の一層の充実を目指すよう、市内の私立学校など各学校に同プログラムや指導資料などを提供していきたいと考えています。



住宅の耐震化へ

熊本地震では犠牲者も多くが建物倒壊による圧死でした。住宅耐震化の必要性が高まっており、寝室など長く過ごす部屋の、すじかい補強など住宅の一部を補強する簡易工事も耐震補強の補助対象にすべきではないですか。

他都市に、住宅の一部「耐震シェルター」などを設置する場合に対する補助制度を設けている事例もあります。地震から市民の生命を守るために、地域の実情に応じ、どういった支援策が効果的かという観点から、このような事例を参考として検討していきます。

命を守る支援を

サッカー球場の住民説明を

みなと公園のある宇品場が建設されると渋滞・治安などが不安。「みなと公園を残してほしい」との声がでています。候補地の検討に当たっては同地区に説明して意見を聴くべきではないですか。

今年4月の実現可能性調査報告書の取りまとめ後に、住民の方々のご意見をお聞きするよう準備をしていたところですが、3月以降サンフレッチェ広島から独自案などが示されたことから、実現に至っていません。今後、町内会長などと調整し、報告書の内容や経緯について説明する場を設け、同球団の案についても情報提供できるよう考えています。



みなと公園に建設した場合のイメージ図



芸備線の利便性向上へ

芸備線(広島駅・下深川駅間)の10分ヘッド化には「行き違い施設等が必要である」というのが本市の認識ですが、今後10分ヘッド化に向けて、どのように取り組んでいくのですか。

同路線を基幹公共交通として活性化させる上で10分ヘッド化は重要な課題ですが、行き違い施設の設置など事業費は約50億円との試算結果が出ています。採算性が確保の対応策や財源確保の問題など、引き続きJRや関係機関と協議、検討していきたいと考えています。

地域の声を生かした防災サイレン設置を

サイレン設置について、一部の地域で「町内でサイレン音や放送が聞こえない。サイレンを自分の町内にも設置してほしい」という声を自主防災会や自治会の方々から伺います。市は真摯に検討すべきだと思えますが、どのように考えていますか。

現在市内にサイレンンや防災行政無線屋外スピーカー156基を整備しており、今年度新たに3基を整備します。しかし、新たに造成された住宅地や地形などの影響で音が届きにくい地域については、今後、住民の意向も踏まえながら、調査の上、整備について検討したいと考えています。



今年度設置予定の防災行政無線屋外スピーカー